

氏名	所属
堤 マサエ	山梨県立大学 名誉教授

■ご意見の内容(1/2)

1. 全国社重について

○重点目標1に関し、最新の新技术(色々な新技术が開発され、浸透しつつある)を積極的に活用してほしい。現在のコストが安価であるのみで事業を採用するような判断でなく、社会資本整備は長期的なメンテナンスコストも見据えた選択、実施が必要であり、その視点からも維持更新をしてほしい。

2. 今後の災害対策について

○今回の関東・東北豪雨による水害を契機に、いかに社会資本の整備が大切かを認識するとともに、多くの住民は自分の命をどのように守るのかを考えるきっかけとなった。また、地域住民全体で自らの命、財産を守る工夫、意識化を行っていく必要がある。そのような視点からの地域づくり、地域力を高める(みんなで命を守る)広報活動も重要であると思う。

○これまでの取組み(防災対策など)を、身近に潜む危険(災害発生状況)などを含めて後世に伝えていく資料を作っていくべきと考える。(過去の富士川橋梁の資料(DVD)など)

○身近なまわりの環境を客観的に理解し、災害対策に対して他人任せにせず、危機管理に常に備える心構えを持つ必要がある。今は、危機を危機と感じない危機状況になっている。実際に災害が発生しても、危機状況の判断が困難な状況も生じ、そのような危機判断、対応をいかにするかが課題と思う。

氏 名	所 属
堤 マサエ	山梨県立大学 名誉教授

■ご意見の内容(2/2)

3. 脆弱国土について

○脆弱国土という言葉は、危機意識を高めるという観点から重要なキーワードと思う。どこの国でも脆弱な部分はあると思うが、危機感を感じさせることにより、逆に強靱な国土づくりの計画を立案することが望ましい。

○安全・安心な社会を維持するために様々な代替可能性(多様性)を持った社会資本整備を進めてほしい。独自性を持ちつつ多様性を持った体制を構築してほしい。

○サステナブル(持続可能)な社会構築を意識してほしい。日本独特の良さは持続させることが大切と思う。

4. 対流型首都圏の形成について

○対流した中での融合という言い方が良いと考えている。溶け合いながら交じり合っていくというイメージが良い。